

弊社新刊 「スーパーベンチャーの創り方」 トーク&サイン会が盛況のうちに閉幕 ～赤裸々に語られた制作の舞台裏



同トーク&サイン会は、平日19時スタートと、この種のイベントとしては決して恵まれた条件ではなかったが、スタートの10分以上前には定員80名分の席は埋まり、加えて当日参加希望者も現れたことで、立ち見も出る盛況ぶりであった。

トークショーは、04年にまでさかのぼる河野氏と著者村上との出会いのいきさつを皮切りに、同書の企画が昨年2月のとある会食の席での何気ない会話から生まれたこと、制作具体化にいたる経緯、伊藤忠商事 小林栄三取締役会長、(株)エイチ・アイ・エス 澤田秀雄代表取締役会長、カブドットコム証券(株) 齋藤正勝代表取締役社長ら河野氏と関係深い財界人、さらにはご両親、学生時代の友人など本書に登場する多彩な取材対象に関する印象的エピソードの紹介などを横軸として進行した。

一方縦軸として、「よりいいものを創り上げたい」という2人の熱すぎる思いから、全体の構成や章立て、取材の切り口や文

章表現にいたるまで、制作プロセスのあらゆる局面で意見の対立やせめぎあいが絶えず、当初3カ月程度と想定されていた制作期間が、同種の書籍としては異例に長い1年4カ月に及ぶこととなった舞台裏の状況が、ユーモアとエスプリをたっぷり効かせた両氏の掛け合いを通じて赤裸々に明かされた。

終盤では、著者村上のリードで、すでにベンチャー企業の域を超えて大型化・多様化し、大企業としての階段を上り始めたTKPの今後のあり方に関する経営者としての複雑な思い、そして「ベンチャー魂を備えた大企業への脱皮」という未踏の領域を目指すとの意向が河野氏の口から語られた。

トークショー終了後にサイン会が行われる構成であったが、会場を後にする参加者の姿はほとんど見られず、書籍を購入し両氏のサインを求める長い列ができた。最後の希望者へのサインが終わるころには、時計の針は終了予定の20時を優に回っていた。

河野貴輝氏(株)ティーケーピー代表取締役社長の企業論を弊社村上実が著した書籍『スーパーベンチャーの創り方 - TKP 創業者 河野貴輝の起業論』(弊社刊)の刊行記念トーク&サイン会が2014年9月3日(水)19時00分より、八重洲ブックセンター(東京都中央区/会場 TKP八重洲ブックセンター会議室)で開催された。集まった多くの参加者は、河野氏と著者村上の軽妙でパワフル、かつリズム感溢れる掛け合いに引き込まれ、このイベントを大いに楽しんだ様子であった。



司会を務めた(株)ティーケーピー営業推進部の熱海有希乃氏



サインを求め多くの参加者が列をなした



差し出される本一冊一冊に丁寧にサインを入れる



要所要所に掲示された大型ポスター



開場直前。高まる期待感



写真中央 旅行アドバイザー兼コンタクターの大前伶子氏。向かって左からホテリジャーナリストの小原康裕氏、河野貴輝氏、著者村上、弊社太田

書籍概要

「ITとリアルビジネスの融合」をキーワードに、桁外れの行動力と洞察力で、1人1時間100円という貸会議室ビジネスを創業8年で売上高100億円越えへと急成長させ、「スーパーベンチャーの代名詞」といわれるまでになった若き経営者・河野貴輝氏の半生記。全国書店にて好評発売中。

【河野貴輝氏プロフィール】

株式会社ティーケーピー 代表取締役社長

1972年大分県生まれ。1996年慶應義塾大学商学部卒業後、伊藤忠商事(株)為替証券部を経て、日本オンライン証券(株)(現カブドットコム証券(株))設立に参画、イーバンク銀行(株)(現楽天銀行(株))取締役営業本部長等を歴任。インターネットにおける金融業のノウハウを取得し、2005年8月当社設立、代表取締役就任、現在に至る。

【ご購入のお問い合わせ】(株)オータパブリケーションズ

販売部直通フリーダイヤル 0120-047-911 hanbai@ohtapub.co.jp

